

地域クラブ活動体制整備等事業費

令和6年度予算要求額：210,293千円（一般財源：64,037千円）
 債務負担行為（R7・8）：800千円（一般財源：800千円）
 【参考】令和5年度予算額：81,228千円（一般財源：21,134千円）

【目的】子どもたちの多様な活動機会の確保と学校の働き方改革を実現する「地域移行体制構築と部活動指導員配置の両輪による改革」

現状と課題

● 府として令和5年度から令和7年度末までを改革推進期間として位置づけ、**休日**の部活動から段階的に地域移行していく（令和5年5月に設置した「大阪府における部活動の地域移行に関する検討会議」での協議を踏まえ、8月に府方針として決定）

①【地域移行】移行体制構築支援

【国庫委託事業】(国10/10)

- 地域移行実証事業(前身事業会)
- R5：豊中・箕面・守口・大東・泉大津・岸和田市
- R4：箕面・守口市
- R3：島本町・守口市
- R2：島本町



【国庫補助事業】(国1/3府1/3市1/3)

- 方針策定・体制構築等に係る協議会開催
- R5：箕面市、高槻市、守口市、枚方市、藤井寺市

②【地域連携】部活動指導員配置支援

【国庫補助事業】(国1/3府1/3市1/3)

- 実技指導や学校外での活動への引率
- ・ 生徒の活動機会の保障や地域移行に備える
- ・ 教員の部活動指導時間削減と心理的負担軽減



課題

【令和5年度 部活動実態調査より】

- ◆ 部活動設置部数：4,649部（顧問：10,451人）
- ◆ うち専門的指導可能教員割合：約49.8%（5,214人）

【検討会議での委員意見】

- ◆ 財源と適した人材確保、府としての広域的な整備を求む

【市町村の状況】

- ◆ 受け皿となる団体と人材が不足（質の保障含めて）

事業内容

① 地域移行に向けた実証事業（国庫委託事業）(国10/10 ※一部ゆめ基金)

要求額：82,420千円（一般財源：0千円）
 【参考】令和5年度予算額39,027千円（一般財源：0千円）

- 市町村における部活動の地域移行に向けた実証事業を展開し、事業成果の普及から府内全域の取組みに生かす。（府方針P.12）

- ＜市町村の取組み＞ 体制整備、指導者の質・量の確保、関係団体等との連携強化、面的・広域的な取組み、内容の充実、参加費用負担支援、学校施設活用 等
- ＜大阪府の取組み＞ 検討会議(年3回)、進捗状況確認(各学期3回)、成果発表会(3月)、指導者の質の向上(研修動画コンテンツ作成等)、広報活動(府民向け案内)

- 指導者の発掘・把握から、市町村の求めに応じた指導者の紹介・地域クラブ活動の運営団体等による指導者の配置支援を実現する。（府方針P.8）

- ＜大阪府の取組み＞【人材バンクの設置】指導者の量の確保、円滑なマッチングシステムの構築、指導者の質の向上に資する仕組みづくり

② 部活動指導員の配置支援（国庫補助事業）(国1/3府1/3市1/3)

要求額：127,873千円（一般財源：64,037千円）
 【参考】令和5年度予算額42,201千円（一般財源：21,134千円）

教員に代わり指導を担う部活動指導員の配置支援から、生徒のニーズを踏まえた活動の保障や地域移行に向けた地域連携を促進する。（府方針P.11）

【令和6年度 優先的配分基準】

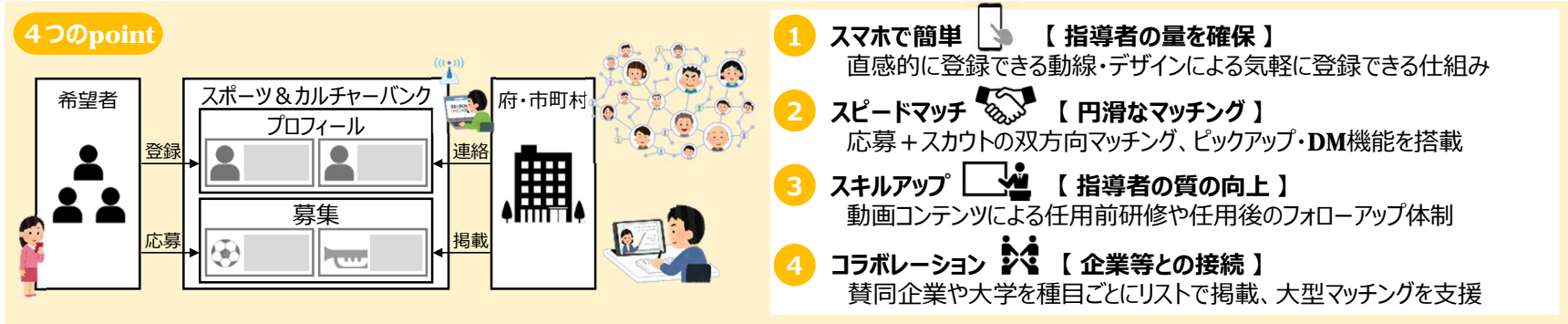
- ◆ 地域移行に向けた取組み状況
 域内実態把握調査、地域移行説明会・研修会の開催、協議会の開催、地域移行に向けた方針策定、国事業の実施状況等
- ◆ 時間外在校等時間の削減状況

効果

- 円滑な地域移行・地域連携を後押しすることにより、子どもたちが将来にわたり多様なスポーツ・文化芸術活動ができる機会の確保につながる。
- 教員の部活動指導時間の削減と心理的負担の軽減により、働き方改革の推進につながる。

【人材バンク】大阪府スポーツ&カルチャーバンク（仮称）について

コンセプト 『部活動指導員』および『地域クラブ活動指導者・サポート団体』の発掘・把握から、市町村の求めに応じた人材・団体の紹介による学校部活動の地域連携(部活動指導員)・休日の地域移行(地域クラブ活動)への支援を実現する枠組みを構築する



Point 1 スマホで簡単 【指導者の量を確保】

気になる求人に応募してみましょう

求人にはスカウトを持たずにご応募いただくのも大歓迎！ぜひ積極的に応募してみましょう

Point 2 スピードマッチ 【円滑なマッチング】

応募完了

ご応募ありがとうございます！
求人先とマッチングしましたらご連絡いたします

Point 3 スキルアップ 【指導者の質の向上】

動画視聴による通信講座機能を搭載
(搭載予定動画コンテンツ)
制度の概要、活動の意義・位置づけ、サービス、発達段階に応じた指導方法、情報共有、安全・障害予防、引率、生徒指導対応、事故対応、配慮を要する生徒への対応、保護者対応、管理運営 等

Point 4 コラボレーション 【企業等との接続】

持続可能なスポーツ・文化芸術環境の構築等に賛同・協力いただける企業等を、対応可能種目ごとにリストで紹介
※市町村等の単位で一括募集する場合を想定

【人材バンク】大阪府スポーツ&カルチャーバンク（仮称）のPoint 3・4について

Point 3

スキルアップ【指導者の質の向上】

 **いつでもどこでも受講可能**

 **指導にあたって必要となる知識を習得**

MENU

部活動指導員および地域クラブ指導者向けのコンテンツをそれぞれ用意

共通

- ① 生徒の発達段階に応じた科学的な指導
- ② 部活動を担当する教員等との情報共有
- ③ 安全・障害予防に関する知識・技能の指導
- ④ 学校外での活動(大会・練習試合等)の引率
- ⑤ 事故が発生した場合の現場対応
- ⑥ 配慮を要する生徒などへの配慮
- ⑦ 保護者等への対応



部活動指導員

- ⑧ 部活動指導員制度の概要(身分、職務、勤務形態、報酬、災害補償等)
- ⑨ 学校教育及び学習指導要領
- ⑩ 部活動の意義及び位置づけ
- ⑪ 服務(校長の監督を受けること、体罰・ハラスメント・信用失墜行為の禁止等)
- ⑫ 生徒指導に係る対応
- ⑬ 部活動の管理運営(会計管理等)

地域クラブ活動指導者

- ⑭ 地域クラブ活動の意義及び位置づけ
- ⑮ 地域クラブ活動の管理運営(会計管理等)

Point 4

コラボレーション【企業等との接続】

 **域内の複数校への対応に**

 **体験型イベント等の企画に**

 **集合型研修会へのサポート**



MENU

企業や大学における対応可能種目等をそれぞれリストにて紹介

A：運営団体・実施主体として

各地域クラブ活動を統括する運営団体や、個別の地域クラブ活動を実際に行う実施主体の担い手として

B：特定種目への指導者派遣として

陸上競技やサッカー等の指定する種目で、域内の複数校における地域移行を進めるために必要となる複数の指導者の確保として

C：体験型イベント等のサポートとして

複数の活動を同時に体験することを含め、生徒の志向や体力等の状況に適したスポーツ・文化芸術に親しむ機会づくりの企画・運営のサポートとして

D：集合型研修会へのサポートとして

更なる指導者の質の向上に向けて、特定の種目等における最新の指導法等を習得するための集合型研修会を一括開催するためのサポートとして



要求額：82,420千円（一般財源：0千円）

債務負担行為（R7・8）：800千円（一般財源：800千円）

【① 地域移行に向けた実証事業（国庫委託事業）】 積算内訳

		区分	要求額
実証事業	市町村	運動部(保体)	74,104千円 【一財：0千円】
		文化部(小中)	3,468千円 【一財：0千円】
	大阪府	運動部(保体)	500千円 【一財：0千円】
		文化部(小中)	348千円 【一財：0千円】
		人材バンク(保体)	4,000千円 【ゆめ基金：350千円】【一財：0千円】

≪市町村≫（運動部）12市（豊中市、池田市、箕面市、守口市、枚方市、大東市、門真市、八尾市、藤井寺市、大阪狭山市、泉大津市、岸和田市）
 （文化部）5市（箕面市、大東市、門真市、八尾市、泉大津市）

≪大阪府≫（運動部）諸謝金192千円、旅費40千円、借損料(会場使用料)144千円、印刷製本費73千円、雑役務費(要約筆記)51千円
 （文化部）諸謝金 84千円、旅費24千円、借損料(会場使用料)144千円、印刷製本費45千円、雑役務費(要約筆記)51千円
 （人材バンク）委託費4,000千円（初期セットアップ、年間利用料込）

≪債務負担行為（R7・8）≫ 委託費(運用・保守)800千円【一財：800千円】※年額400千円

【② 部活動指導員の配置支援（国庫補助事業）】 拡充の積算

要求額：127,873千円（一般財源：64,037千円）

区分		R5		R6		増減	
		市町/校	配置数	市町/校	配置数	市町/校	配置数
市町村	運動部(保体)	22市町	190人	30市町	272人	+ 8市町	+ 82人
	文化部(小中)	16市町	42人	20市町	72人	+ 4市町	+ 30人
府立中	運動部(保体)	1校	1人	1校	1人	±0校	±0人

令和6年度当初予算（政策的経費） 地域クラブ活動体制整備等事業費

事業概要

目的

少子化の中でも将来にわたり、生徒がスポーツ活動に継続して親しむことができる機会を確保するとともに、教員の部活動指導にかかる時間と心理的負担を軽減する。

内容

- 運動部活動の休日における地域移行に向けた支援を行う。
- 部活動指導員を配置した市町村に補助を行う。
- 府立中学校に部活動指導員を配置する。

《債務負担行為》

事項：人材バンクの設置/期間：令和6年度～8年度/限度額：800千円

予算額		財源内訳			
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源
要求額	183,444千円	130,574千円	0千円	350千円	52,520千円
査定額	117,003千円	97,353千円	0千円	350千円	19,300千円

要求額の内訳		査定額の内訳	
1 休日の運動部活動の地域移行事業 (1) 地域移行に向けた実証事業	78,604千円 78,604千円	要求どおり ○ 特定財源の範囲内で執行すること。 ○ 次年度以降、府負担が発生する場合は、部局マネジメントにより明確に財源捻出の上、要求すること。	78,604千円 78,604千円
2 学校部活動の地域連携事業	104,840千円	○ 事業拡大の必要性不明。 ○ 定量的な成果指標が設定されていない。 ○ 地域移行にかかる府方針、支援範囲、後年度負担を明確にし、財源について整理したうえで示すこと。 ○ 部局マネジメントによる財源捻出がなされていない。	38,399千円
(1) 部活動指導員の配置（府立）	374千円	要求どおり	374千円
(2) 部活動指導員の配置（市町村立）	104,466千円	前年どおり	38,025千円